

# 幸せの歌



8月17日新規就農者誘致促進セミナー パネルディスカッションの様子

J A 宗谷南

2017NEN  
8GATUGOU  
~SEASON57~

# 枝幸町新規就農者誘致促進セミナー

8月17日～18日、枝幸町新規就農者誘致促進部会(枝幸町農業推進連絡協議会)主催によるセミナーが開催され、町内外から新規就農を夢見る若者達や関係者らおよそ130名が参加し、新規就農を目指す研修生や学生が新規就農した酪農家の体験談や関係機関の講演から就農に向けた大切な事を学びました。

## セミナースケジュール

・8月17日

- 基調講演  
「酪農をめぐる日本と世界の動向」 農林水産省生産局畜産部長 大野 高志 氏
- 新規就農を目指す研修生からの報告  
「私が酪農経営を目指すのを決断した時」 枝幸町酪農研修生 川上 沙織 氏
- ピアノ演奏(枝幸町酪農研修生「孫 毅さんの娘たち」  
孫 梓 苑ちゃん(小4) 演奏曲「子守唄」  
孫 梓津郁ちゃん(小4) 演奏曲「アンニク」
- 新規就農者からの報告  
「新規就農して思うこと、感じること」 枝幸町歌登(H28年就農) 重松 良平 氏
- 新規就農を目指す学生からの報告  
「私の将来の夢」 酪農学園大学3年生 大園 真由子 氏  
「人と牛をつなぐアニマルウェルフェア」 日本獣医生命科学大学1年生 友西 このみ 氏
- 枝幸町の新規就農者への支援体制 枝幸町役場農林課 仲沢 拓也 氏
- JA宗谷南の研修制度について JA宗谷南営農部営農課長 浜田 和幸 氏
- 宗谷南酪農ヘルパー利用組合の体制について 宗谷南酪農ヘルパー利用組合 組合長理事 石田 幸也 氏
- パネルディスカッション

・8月18日

- 講演  
「酪農経営の第3者経営継承の取組み」 足寄町移住サポートセンター(一社)びびっとコラボレーション 坂本 秀文 氏
- 枝幸町酪農ヘルパーからの報告  
「酪農ヘルパー2年目」 宗谷南酪農ヘルパー利用組合 藤本 将稔 氏  
「ヘルパー組合に就職するまで」 宗谷南酪農ヘルパー利用組合 伊藤 胡桃 氏
- パネルディスカッション
- 牧場視察 枝幸町音標 石山牧場

8月17日・18日に枝幸町新規就農者誘致促進セミナーが歌登フォレストピアホールにて開催されました。4回目を迎える今年のセミナーでは、公務員多忙の中、農林水産省生産局大野畜産部長が、基調講演を引き受けて頂き来町されました、また講演では、足寄町で新規就農継承事業に詳しい坂本秀文さんにもお越しいただき盛会にセミナーが開催されました。

開会に当たり、新規就農者誘致促進部会会長であるJA宗谷南向井地組合長は、「日本農業においては、後継者不足が今後も続いていくと心配される中、現状の農地をどう守っていくかが焦点となる。現状では、規模拡大や新規参入者を求めていくしかないと考えています。しかし、少子高齢化の日本においては、酪農をやりたいという若者が少ない、その数少ない新規就農希望者を枝幸町に迎え、その方が希望している就農スタイルにあった経営をさせてあげたいと思っています」と挨拶しました。

初めに、基調講演として大野畜産部長より「酪農をめぐる日本と世界の動向」と題し、日本酪農情勢や国の政策、日本と欧州連合(EU)の経済連携協定(EPA)の大枠合意の内容について分かり易く説明して頂きました。

続いて、現在枝幸町にて新規就農を目指す研修中の、川上沙織氏より、農業とは全く関係のない仕事から、牛が好きで夫を説得し、美瑛町などで酪農ヘルパーを経て、新規就農したいと決断した時から現在に至るまでの奮闘してきた経緯について発表して頂きました。



農水省  
大野畜産部長



重松 良平 氏



川上 沙織 氏



孫 梓津郁 ちゃん



孫 梓苑 ちゃん

休憩を挟んで、枝幸町で新規就農予定者の、孫観さんのお子さんによるきれいな旋律のピアノ演奏に耳を傾け、心を癒した後、平成28年に歌登東歌登に新規就農を果たした、重松良平さんより、酪農を目指した経緯から実際に就農してみて感じた、5つの事を失敗談を交え悪戦苦闘の日々の事や、パートナーの大切さ、地域の仲間がいる事の重要性を教えてくださいました。



日本獣医生命科学大学 友西このみ氏

酪農学園大学 大圖真由子氏



17日のパネルディスカッションの様子

続いて、酪農家を目指す、酪農学園大学3年生の大圖真由子氏が、「私の将来の夢」と題し、都会育ちの大圖氏がある牧場での体験をきっかけに、酪農家になりたいと思い北海道の酪農学園大学に入学し、実習などを通して、将来酪農を経営しながら、6次化や酪農の魅力を伝えられる活動を行いたいと熱く語ってくれました。

次に、日本獣医生命科学大学1年生の友西このみ氏による「アニマルウェルフェア」を題材に将来酪農経営を自分で行う際には、牛達が快適に過ごせる環境作りを大事にする事を発表してくれました。

その後は、枝幸町・JA宗谷南の新規就農者に対しての支援体制や、宗谷南酪農ヘルパー利用組合の体制について、各担当者より説明があり、パネルディスカッションへ移りました。パネラーには、向井地組合長を始め、農水省の新川氏、宗谷総合振興局の谷氏の他講演者の中から出演して頂きました。石田幸也氏を進行役に会場からは「就農希望者がしておかなければならない事は?」「経営を学ぶにはどうしたらよいか?」など様々な質問が飛び交い、「やる気が大事」「感謝」「配偶者を大切に」「地域との協調性」などといった意見が出ました。

セミナー終了後は、歌登グリーンパークホテルにある焼き肉ハウスに場所を移し、歓迎の挨拶を村上町長に頂き、交流会が始まりました。未来の酪農家たちは夢を語りながら大いに親睦を深め有意義な時間だったと思います。

翌18日は、(一社)びびっとコラボレーションの坂本秀文氏から講演が始まり、坂本氏は、足寄町開拓農協の職員時代に、放牧関係の補助事

業の担当者となり、「足寄町放牧酪農推進の町」に携わってきた方です。

放牧酪農推進の町を宣言してから新規就農が増えてきて、その新規就農者のコーディネーター的な役割も担って来ました。その経験で培ってきた「第3者継承の取組」についてご講演して頂きました。

講演の中で、坂本氏は、新規就農者が増えれば地域の活性化につながる事を肌で感じた事や、第3者継承を成功させるための秘訣を教えてくださいました。

また、新規就農で成功するためには「酪農経営をするという強い意志と、必死に働いている姿を示さないと周囲は認めない、夢だけではダメです」と、新規就農希望者に対し厳しい意見でエールを送りました。

セミナーの発表としては最後となる、宗谷南酪農ヘルパー利用組合から、藤本将稔氏と伊藤胡桃氏の二人が発表してくれました。

藤本氏は、酪農ヘルパーになって2年目が立ち、北海道の冬の厳しさや、酪農という仕事の大変さを通じ、自分が成長させてもらっている事を感謝の気持ちで伝えてくれました。

伊藤氏は、自然にあこがれ、動物も好きなこととあり酪農ヘルパーになりたいと北海道へ移住、そこで出会った枝幸町の酪農家達の温かい人柄に助けられたことや、もっと多くの方と交流していきたいと発表してくれました。そして二人とも酪農ヘルパーの素晴らしさを伝えてくれる内容でした。

翌18日は、(一社)びびっとコラボレーションの坂本秀文氏から講演が始まり、坂本氏は、足寄町開拓農協の職員時代に、放牧関係の補助事

セミナーの最後は昨日に引き続き。パネルディスカッションを行い、本日講演頂いた方と前日発表してくれた、大圖氏と友西氏に登壇して頂き、どういう牛が好きなのかとか、夢を追いながら経営をしていくビジョンや枝幸町のイメージなど多くの意見が述べられました。

セミナー終了後、音標の石山享牧場へ移動し、牧場視察を行いました。石山牧場では、高能力の牛群を前に「牛が大きいですね」「乳房が大きい」などの声も上がり、「搾乳牛舎と育成舎の導線が便利でいいですね」など皆さん興味深々でした。牧場視察を終え全ての工程が終了しましたが、今年はこの他に牧場宿泊体験を実施し、セミナー参加者から13名の方がそれぞれの牧場で1泊2日の牧場宿泊体験も行いました。



伊藤胡桃氏



藤本将稔氏



18日パネルディスカッション



(一社)びびっとコラボレーション  
坂本秀文氏



石山享牧場視察の様子



# 枝幸町乳牛共進会

8月4日、歌登共進会場にて、第11回枝幸町乳牛共進会が開催されました。

審査委員には、ジエネティクス北海道道北事業所の中谷英世業務課長を迎え審査がスタートしました。

出品頭数は9戸24頭で日頃の乳牛改良の成果を競い合い、審査員の中谷氏も、「レベルの高い地域なので、順位付に非常に苦労しました」と称賛の言葉を頂きました。

経産の部には、小椋義則さん出品の「オムラハイローン アツトテンバー」が、未經産の部では、同じく小椋義則さん出品の「オムラドーマン エントリーET」が輝きました。

また、今回出品牛の中から8戸18頭が道北ホルスタイン共進会へ出場します。



枝幸町乳牛共進会各部1位

部	名号	出品者
1部	フェンスボード ロイヤルリンド スパークリング	小椋 義則
2部	ウチ ブルツクゲイン ウインデー	内田 喜久男
3部	オムラドーマン エントリー ET	小椋 義則
4部	ウチ フレーランドビダム ウエンディ	内田 喜久男
7部	ウチ プロフィットライラ マークイス	内田 喜久男
8部	オムラ ハイローン アツトテンバー	小椋 義則
9部	オムラ マニアート ET	小椋 義則
10部	ハーバービュー セプテンバー シマー	寺前 吉幸



審査委員  
中谷 英世



チャンピオン戦の様子

# 組合員親睦交流会

7月28日酪農振興センターで、組合員親睦会  
交流会が行われました。

組合員及びご家族様、来賓として各関係機関  
からおおよそ140名が集まり焼き肉を囲みなが  
ら楽しいひと時を過ごしました。

開会の挨拶で、向井地組合長は、一番牧草の収  
穫も無事に終わり今日は日頃の疲れを労い、大  
いに皆様方と親睦を深めていただきたいと挨拶  
しました。

親睦交流会では、多くの子供達の参加もあり、  
焼肉やアイスクリームをおいしそうに食べている  
姿を見ると、とても賑やかに感じました。

後半では、お楽しみ抽選会があり2名にペア宿  
泊券が当たり、他に商品券などの高額商品や、  
関係機関から提供して頂いた品々が当たり大に  
盛り上がりました。



# 夏のお祭り

## 納涼仮装盆踊り

8月13日枝幸町中央コミュニ  
ティセンターで毎年恒例の納涼  
仮想盆踊り大会が開かれ、当農  
協職員5名が盆踊りを盛り上げ  
るのに一役買いました。

今年生憎の天気で、室内での  
盆踊りとなりましたが、某携帯  
電話会社のCMで話題沸騰中の3  
太郎に扮装しカ一杯踊り、特別  
賞を頂きました。

## 歌登サマーフェスタ

8月15日、町営歌登サブ球場  
にて、サマーフェスタが開催され  
ました。

当日は、JA宗谷南青年部と農  
協職員総勢12名が牛乳の消費拡  
大PRとミルクランドグッズの無  
料配布を行いました。

前日まで、雨が続いておりまし  
たが、当日は晴れ、多くの方にご  
来場いただき、牛乳100セット  
が全て配布完了しました。

最後は花火の打ち上げで夏の  
夜に見事な大輪の花が咲きまし  
た。



#### ◆PAGsとは・・・

妊娠時にのみ胎盤から分泌される物質、**P**regnancy(妊娠) **A**ssocited(関連) **G**lycoproteins(糖タンパク)のことで、妊娠牛の血液や乳汁から検出されます。

乳汁よりPAGsを検査することによって、妊娠確認の指標として活用することができます。人工授精後28日目より検査による確認が可能で、分娩後60日後より次の妊娠確認が可能となります。

#### ◆PAGs検査の精度・・・

PAGs検査は従来の直検・エコー検査と高い相関性があり、感度(※1)98.7%、特異度(※2)94.4%、判定保留(±)の割合が3.5%の高い精度をもっています。

※1:妊娠中の検査陽性の割合 ※2:非妊娠中の検査陰性の割合

#### ◆メリット

- 時間を問わず検査依頼可能
- 乳汁で検査するので、牛への負担が少ない
- 繁殖成績の向上を期待できる

など

#### ◆デメリット

- 妊娠・空胎以外の情報が取得できない
- 検査料がかかる(1検体1,080円)

など

#### ◆その他・注意点・・・

- ・ 一度陽性と出ても胚死滅や早期流産などで妊娠継続していない場合もある。
- ・ 検査機関に検体が到着後、3営業日で結果がわかる。(土日祝を除く)
- ・ サンプルの状態が悪い場合、正確な検査結果が出ないことがある。



今回はアイデックス ラボラトリーズ株式会社が行っている乳汁を用いたIDEXX PAGs検査を紹介しました。

従来の妊娠鑑定(直検・エコーなど)と併用することによって、妊娠牛・非妊娠牛の早期発見や流産の見逃しの減少など、繁殖成績の向上に役立つかも知れません。

# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々  
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的に  
お伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ  
トをご覧ください。

## JA北海道中央会



昨年12月の「農協改革」に関する組合員向  
け資料に引き続き「准組合員制度」についての  
組合員向け資料を作成しました。

准組合員利用規制に関して、農林水産省が  
結論を出す期限の平成33年3月末が迫る中、  
准組合員利用規制が及ぼす影響を、組合員  
の皆さん一人ひとりが考えるきっかけとして  
の活用を目的としております。本資料は、准  
組合員制度の成り立ちや准組合員が地域を  
支える実態、規制改革推進会議が准組合員  
利用規制を迫る背景などを、平易な対話形  
式により表現しております。中央会のホーム  
ページに資料を掲載しておりますので、「覧  
ください。

## JA北海道信連

8月に、小学生の親子を対象とした「旬食カ  
レッジ旭川「収穫・料理教室」」をJAあさひ  
かわの協力を受け開催しました。

大根の収穫体験、収穫した  
大根を使った料理教室、農  
業者による講演等を実施す  
るなど、「食材が畑から食  
卓に並ぶまで」を体験してい  
ただき、農業・食の大切さ  
を伝えることができました。

参加者には、「農家を身近に感じた」「また  
参加したい」など好評でした。



## ホクレン

LINE@等を活用した生産  
者向け情報発信サービス「ホク  
レンインフォメーション」では生  
産者の皆様に向けたイベントや  
新商品の情報、生産資材（飼料  
や農薬など）価格、スマート農業  
情報などの営農情報をタイムリーに発信し  
ております。今後とも生産者の皆様に役立つ  
情報を発信してまいりますので、ぜひお手持  
ちのスマートフォンやパソコン([http://hokuren-  
news.jp/](http://hokuren-news.jp/))から「登録ください。



↑登録は  
こちらから

## JA共済連北海道

8月4日、札幌にて「全道JA・スマサポ大  
会」を開催し、全道JAの中から、平成28  
年度普及活動で優秀成績を収めたJA38  
名と、スマイルサポーター11名が登壇し、  
表彰しました。JA共済では、これからも  
「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障  
点検活動）」の実践を通  
じて、組合員・地域利用  
者の信頼と期待に応え、  
「安心」と「満足」の提  
供に努めて参ります。



## JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命  
と健康を守るため、本会事業の積極的な  
啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌  
「すまいる」を発行しております。年3回発  
行しており、様々な医療・健康情報を発信  
しております。

ホームページにもバ  
ックナンバーを掲載し  
ておりますので、是非  
「一読ください。



# J A管内野球大会

7月9日、豊富町営球場にて、J A管内野球大会が開催されました。天候は曇りということ、ある意味絶好の野球日和となりました。

第1試合はJ A稚内とJ A北宗谷との対戦で、1回表、先行のJ A稚内は2点を先取し、相手にプレッシャーを与えることに成功しましたが、その裏、J A北宗谷も負けじと1点を返し応戦。その後、1点、2点と点の取り合いとなりました。5対2で迎えた7回裏の最終回、J A北宗谷のヒットが続き、5対4の満塁のチャンスとなるものの、最後はJ A稚内のピッチャーが踏ん張り、最後の打者を三振に抑えてゲームセット。J A稚内が勝利を掴み取りました。

第2試合はJ A宗谷南とJ A稚内との対戦。1回表、先制点を取りたいJ A宗谷南でしたが、打線が振るわず0点に。逆にJ A稚内に1点取られ、幸先の悪いスタートとなりました。



\*\*\*\*\*  
**JA宗谷南ナイン**  
 \*\*\*\*\*



その後、互いに0点が続きましたが、3回表、9番バッターの浦谷正憲選手が相手のエラーもあり2塁へ出塁すると、1番バッター、松本祐斗選手がセンターへヒットを放ち、1点を返すことに成功。このまま流れに乗りたかったJ A宗谷南でしたが、J A稚内の猛攻を受け、2点、3点と取られ1対6に。逆転を信じて臨んだ7回最後の攻撃でしたが、相手ピッチャーに打ち取られ、敗北してしまいました。今年も優勝出来ませんでした、来年のリベンジを誓い、豊富の地を後にしました。

第1試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
JA稚内	2	2	0	0	0	1	0	5
JA北宗谷	1	0	1	0	0	0	2	4

第2試合

	1	2	3	4	5	6	7	計
JA宗谷南	0	0	1	0	0	0	0	1
JA稚内	1	0	0	2	0	3		6

## 職員退職

○山岸 映子

旧北見枝幸農協時代から37年務めて頂いた山岸映子さんが、7月末を持ちまして退職する事となりました。

長年組合員の皆様にお世話になり有難うございました。



## 公共育成牧場1番牧草集収穫

7月中旬公共育成牧場の牧草収穫が行われました。(株)アグリサポート枝幸職員の他、農協職員がバックサイレージ、バンカーサイロ詰め作業を手伝いました。

バンカーサイロ詰めでは、風も強く悪戦苦闘しましたが、バンカー2本を詰め終わることが出来ました。良質な粗飼料を収穫出来、育成牛たちに食べさせる事が出来るかと思えます。

## 編集委員

浦高森滝川野村  
 谷本川口合澤田  
 正等忠直直隼太  
 憲 幸也樹 希